



元気っ子

No.278 ながさわ保育園

園長 中瀬 弦 偉

10月に入り、園のお散歩コースにある柿の木もうっすらと色付きはじめました。朝晩は少し肌寒さを感じる日もあり、秋が徐々に深まってきていることを感じます。一年の中でも戸外での活動が気持ちよく、お天気のいい日はどのクラスも園庭、西の広場、お散歩と秋を感じながらの園外活動を満喫していることかと思えます。

以前に、「元気っ子」でも書かせて頂いたこともあったかと思いますが、AI（人工知能）の進歩により、将来的に人の手が必要なくなり、AIに置き換わってしまう職業が出てくるという話があります。新聞記事や報道番組などでも耳にしたりする保護者の方もおられるかもしれません。こういった話を聞くと、気になるのは「将来的」っていつ頃なの？また、「置き換わってしまう職業」って何なの？ということだと思います。

私が大学生の時、今から20数年前の話なのですが、「電子商取引」の講義がありました。いわゆる「電子マネー」についてのことだったのですが、まだ当時は、電車に乗るのも、普通に券売機で切符を買って乗るのが当たり前前の時代でした。そんな時代に「一枚のカードに現金をチャージし、それで買い物も乗り物も・・・」という話は正直、夢物語のように感じていました。ところが、大学を卒業してわずか数年で駅の改札は電子マネーが当たり前になり、券売機はただ電子マネーをチャージするだけの場所になりました。そして今では買い物、飲食店、コンビニなど多くの場所で電子マネーが利用できるようになり、高速道路の料金所はほとんどがETC対応となり、人がいなくなりました。また、東京の主要駅ではレジ係のいない無人のコンビニが試験的に動き始めています。それに加えて、在宅勤務やオンライン会議など今回のコロナ禍によってその動きはスピードを増したように感じます。そう考えると今の在園児が社会に出る十数年後には多くの職業が人の手を必要としなくなっている可能性が非常に高く、働き方も多様化しているだろうと思います。

そういった意味で、将来的に社会に求められる能力を考えたとき、何かを機械的に暗記し、それを再現する能力はあまり必要とはされずに、人と人が相手の意図をくみ取ったり、想像力を働かせることにより可能になる高度なコミュニケーション能力、それに加えて、興味関心好奇心そして探求心をもって色々な物事に対峙できる力がこそ求められると思います。

今、保育園に求められているのは子どもたちが持っているそういった力をいかに引き出してあげられるかを考えなくてはならないと思います。そのためには大人がしっかりとそういった保育方法を学び、また生活者モデルとして職員間のコミュニケーションを大切にしながら、興味関心好奇心探求心を子どもと一緒に共有していくことが今後ますます大切になってくると思います。

